

A C E 同窓会会報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
豊田市陣中町1-21-1
TEL <0565> 32-8181



夫 英 松 長 校 長
夫 英 松 長 校 長

スマイルとユーモアを!

大勢の人がワツハツハと一絡に哄笑する「お笑い講」というのがありますが、これは昔から言い伝えられている「笑う門には福きたる」という諺に由来しています。

朗らかに哄笑すると生理作用が活発になるそうで、健康によいと言われています。

「笑い」は、その人自身のためになるだけではありません。周囲の人たちにも好影響を与えます。

例えば、職場に朗らかな人が一人いるだけで職場の雰囲気は非常に明るくなります。人にはその人特有の雰囲気というものがあります。その人から漂ってくる雰囲気が「もう一つの仕事」をしているといえます。だから、その人の雰囲気が暗かったりす

ると周囲の人も積極的に協力する気にはならず、仕事もうまくいきません。

「自分の表情は自分の心の表れである」といわれます。しかし、また「自分の表情を変えれば自分の心も変える」ことができます。

私たち日本人は欧米人と比べると「笑い」が少ない、ユーモアが下手な民族だといわれています。

昔から次のような言葉が日本人の間に浸透しています。「不言実行」「謹厳実直」「質実剛健」などです。現在でもこれらの言葉を社是にしているところもあります。いずれもひたむきな真面目さを説いています。このような民族なので、どうしても感情を抑制する傾向があります。

アメリカでは大統領から子供までユーモアを競いあっています。ビジネスが厳しくなればなるほど、人間関係もビジネスライクになりがちです。そうしたクールな緊張をほぐすのがユーモアです。ユーモアは心の余裕です。スマイルとユーモアを心がけましょう。

同窓会実施

平成十年九月二十六日に平成十年度同窓会総会を学校で実施しました。



平成九年度収支報告と平成十

年度予算案が可決されました。懇親会は昨年と同じく学校近くのニューヨークババというパブで行いましたが大変盛況でした。

今回の懇親会出席者四十人のうち十六名は平成十年の春卒業されたCAD/CAMコースの卒業生でした。クラス幹事ははじめ多くの有志が互いに連絡をとって、クラス三十人のうち半数が集まりました。

他のクラスでも何年かに一度はクラス幹事(評議員)や有志が、今年に参加しようと声をかけてクラス大会を行って下さい。

資格取得状況

平成十年度の資格取得状況を左表に示します。

第2種情報処理技術者試験の合格者が増えました。CADとトレースの試験はCADエンジニア専攻の学生も受験するようになりました。表計算はロータス123よりエクセルに変更しました。システムアドミニストレータ試験、CG検定試験、ビジネス実務技能検定試験、秘書技能検定試験を新しく受験しました。

平成十年度入学式

平成十年度の入学式は四月十八日に本学にて行われ、八十五名が入学しました。

前年度よりCAD・CAM学科の学生が減少しましたが、高度情報、電子制御、ビジネスが少しづつ増えました。その結果前年度に比べ差し引き約十名増えました。

学科別の入学者は次の通りでした。

- 高度情報 12名
- 情報工学 34名
- 電子制御 11名
- CAD・CAM 20名
- コンピュータビジネス 8名

求人・就職状況

平成十年度卒業生に対する求人企業数、求人数および求人倍率は、六百三十社、二千四百六十九人および四十八倍と好調でした。

活動初期は設備投資意欲の回復、大学との就職協定の廃止などの影響のためか、求人表の提出が早く、四月末の時点で二百九十社と、昨年を上回りました。活動期中頃より、不況の影響が見られるようになりましたが、内定率九十八%を確保しています。

試験の種類	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	計
1 第2種情報処理技術者試験							11
2 システムアドミニストレータ試験							3
3 情報処理活用能力検定試験			14		17		31
4 情報処理技術者能力検定試験	未発表分あり		10		25		35
5 C言語プログラミング能力認定試験			未発表				
6 Illustratorクリエイター能力認定試験			未発表				
7 Photoshopクリエイター能力認定試験			未発表				
8 CG検定試験					3		3
9 デジタル技術検定試験					2		2
10 CAD利用技術者試験	5		19				24
11 トレース技能検定試験					24		24
12 日本語文書処理技能検定試験					3		3
13 日本語ワードプロセッサ検定試験			未発表				
14 Excel表計算処理能力検定試験			未発表				
15 日本漢字能力検定試験	未発表分あり		2		16	6	24
16 簿記能力検定試験			未発表				
17 簿記検定試験					2		2
18 ビジネス実務技能検定試験					9		9
19 秘書技能検定試験			未発表				

卒業生だより



情報処理コースH8年卒
須藤 さく江

そろそろ先輩

私は、平成八年四月に大東工業(株)に入社しました。会社の主な事業内容は、トヨタ自動車のアルミ製品の金型と部品の製作ですが、最近では新たな仕事にチャレンジしようという事で、いろいろなメーカーとも取り引きが行われています。

私の主な業務内容は、三次元CADとNCデータの作成です。具体的には、トヨタ自動車から支給される製品データをケララムにて面を張るところから、型方案に従ってCADデータを作成し、NCデータを作るまでの仕事をしています。

えられるように、平日頃から仕事のスキルを上げるよう頑張っています。

CAD利用技術者試験1級合格を目指し、これからも頑張っていきたいと思っています。

大東工業(株) 勤務



システムエンジニアコースH7年卒
貞金 美智子

楽しいアートワーク

卒業後入社した会社は、一年程でやめてしまったのですが、今の私があるのは、そこで社会人としての大切な事を学んだからだと感じています。

あいさつ、電話の応対、接客のしかたなどいろいろな学びました。この事は、今この会社に入ったときに大変活かされて、とてもいい経験だったと今でも思っています。

そして今、この会社に入社して早三年が過ぎようとしています。前の会社と仕事の内容が違い、パソコンCADを使いアートワークをするという仕事です。

皆さんも一度はみたことがあると思いますが、お母さんたちが内職で緑色の板(基盤)に部品をさしている、その基盤の回路のアートワークをしています。

ここへ見学に来たときは、とても私には無理だと感じ、不安になりましたが、今日まで何とかここまでやってこれたのは、自分自身、この仕事が好きになれたからです。

忙しいときには毎日残業の日々ですが、出来上がったときの達成感、他には代えられません。

今CADのソフトが新しく変わり、トラブルなどもあります。それが勉強をするいい機会だと考え毎日頑張っています。



電子制御コースH9年卒
飯田 康一

未知への挑戦!

私は今、会社で提供している端末の保守・運用、簡単に言ってしまうと故障の修理をするという仕事をしています。修理と

いつでも専門学校で習った知識を使える所はあまりなく、「機械的な調整」や「ソフトの再インストール」といった今まで全然経験していない事はかりでした。

しかし、慣れてくるにつれ初めはあまり面白く感じられなかった仕事も、段々楽しくなってきました。

私の会社では、ネットワークを取り扱っているので、パソコンについての知識が必然的に身につけていきますし、一人一台パソコンが配備されるので、初めは全然興味がなかったのですが、今ではパソコンなしでは生きていけないという程はまっています。

その中でもインターネットに一番興味があり、今でも休時間等を利用して、インターネットを楽しんでいます。

佛トヨタマックス 勤務



CAD/CAMコースH9年卒
板倉 寿一

新しい仕事

私は平成九年四月にハマプロに入社しました。

佛に入社しましたが、今は内訳化(株)へ出向しています。

ハマプロでの主な業務は、自動車部品の試作型の三次元CADでのモデリングとNC加工データの作成でした。他にもデータ変換やオンライン関係の処理をしていました。

入社したての頃は、学校で習ったようなことができればいいのだからと考えていましたが、やってみると分からないところが多く、先輩の方々へ何回も質問しては、忘れないようにノートにメモをとっていました。今では一通りの作業は一人でできるようになりました。

現在出向先の内訳化(株)では、生産準備の仕事をしています。この仕事は製品を試作から号口(量産)で流れ出すまでの工程を管理してよい製品ができるようにする仕事です。

この仕事は学校で習ってきたようなことと全く違うため分からないことが多いのですが、勉強しながら頑張っていきたいと思っています。

ハマプロ(株) 勤務

大阪での生活

私は、現在日本測器株式会社・大阪営業所に勤務しています。仕事内容は、計測器などの販売です。



経営情報コースH9年卒
平松 章司

営業の仕事は、在学中に学んだ知識を生かす事がほとんど出来ません。それよりも一番大切な事は、大阪で働いているという事です。

入社当時は、会社の同期の人もほとんどいなかった為、友人も出来ず、孤独な日々が続いておりました。しかし、今では社内の方々に、お酒を飲みながら行つて頂いたりして、楽しく生活しています。

ところで、名古屋と大阪の違いについて話します。まず、食べ物です。大阪は、たこ焼・お好み焼が食生活の一部になっています。一家に一台はたこ焼器があるみたいです。もちろん、味噌かつ・味噌煮込みはあります。その様な違いはあるものの、何とか一年半生活して来ました。あと何年大阪にいるかは分かりませんが、何事にも負けない様仕事・遊びに励みたいと思っています。

日本測器(株) 勤務

学科だより

高度情報学科 情報工学科

教授 島 悦郎

卒業生の皆様にはますます「健勝のごとお慶び申し上げます。本校の近況について、順を追ってご報告申し上げます。

まず、就職に関しましては、今年度も早期に求人頂き、四月には昨年をこえる企業から求人をおいただきました。活動時期中頃になり、不況の影響を受けながら一社あたりの求人数の下方修正が見られました。しかしながら、情報関係の求人は旺盛で、就職活動はほぼ順調に推移しました。従って、例年にもまして情報関係の職に就いた。(就く予定の)学生が多くなっています。

本校の就職活動を見る限り、大不況の影響はまだ現れて来ておらず、むしろ、これからと言った感が致します。

次に、授業内容について述べますと、昨年から学科構成が変わった事もあり、新しい科目がスタートしました。今年の主な特徴を、以下に示します。

- 一、Visual Basicの演習のスタート
- 二、MIDI演習のスタート
- 三、インターネット実習のスタート
- 四、ホームページ作成演習のスタート

- 五、I検試験対策講座の設定
- 六、高度情報学科の一種情報処理技術者試験対応科目授業の本格化
- 七、Visual C++演習のスタート

その分野の専門家をお迎えしての講義。授業内容がますます魅力あるものになったと自負しております。特に、資格取得に對しては各先生方の情熱溢れる御指導もあり、その効果が徐々に現れつつあります。益々、就職に強い、検定に強いACEになります。

最近、いろいろな経歴をお持ちの方が入学や聴講に通っておられます。このような方々が加わって下さると、一粒のスパイスのようにクラスの雰囲気を引き締まったものになります。授業以外の雑談を通していろいろな意見を述べて下さることや、授業に臨む姿勢は、その雰囲気も少なからずとも感じとってくれます。科目等履修制度を実施しプラス効果が現れています。これからもいろいろな層の方が本校に来てくれることを期待したいものです。

最後に、常々私が思っていることを述べてさせていただきます。それは、卒業された皆さんが、本校を卒業して本当に良かったと感じていただいているかと言ったことです。

実学の学び舎がその目的を達成しているか、皆様のご意見をフィードバックして常に時代に即応したカリキュラム作りを心掛けたいと思っております。ぜひ学校に対するご意見、ご提案をお寄せ下さい。

今年度は人為的な事、自然現象の両面で異常な状態が発生しています。まさに混沌とした時代です。このようなとき、周りの意見を的確に判断して、決断することが非常に難しくなります。これを少しでも防ぐには、健全な心身を維持するしかありません。どうぞ、健康に留意され、仕事に興味に活躍されることをお祈り致します。

電子制御学科

教授 掛布 英辰

現在の学科の様子を紹介いたします。電子制御学科では実験・実習のうち、電子制御関係の実習(シーケンサ、ロボット、コンピュータ制御など)をさらに充実させるため、これらのテーマを集約的に、また、時間をかけて実習できるように実験・実習の授業時間を増やすことにしました。

今年度の卒業製作は、昨年度のテーマのうち、「マイクログラウスの制御」と「インターネットのホームページの作成」をひき続き行っています。今年度は新たに「相撲ロボットの製作」を加えました。機会があれば大会

に参加したいと思っております。マイクログラウスに関しては、昨年十月に名古屋で行われた大会に参加したときの様子が特集記事として本紙に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

電子制御学科ではこれまで、資格試験をあまり受験しませんでした。今年度からは、漢字検定、工事担任者試験(通信線接続)、デジタル検定、E X C B E L検定を全員が受験することにしました。

CAD・CAM学科

教授 棚橋貢之祐

今年度の就職活動は、例年よりペースが少し遅いぐらいで、残り失敗もなく内定を頂いていきましたので心配もしていません。十月から急に決まらなくなりました。それだけ景気が、九月以降更に厳しくなったということでしょう。

平成十年の春に採用していただいたい会社の状況が厳しくなり、離職、あるいは転職を余儀なくされました方が二人います。皆さんも、会社の状況が以前より厳しくなっていることは肌で感じておられると思います。現在、職があることを幸せと思ひ、少しでも会社のために力

を出してください。学科の状況ですが、福田先生に担当の「図学」を、内容を交えて「製図演習」を教えて頂きました。

「文章表現」を担当しておられました船戸先生が東京へ行かれましたので、学生は面白い話を聞くことができなくなりました。「英会話」担当のケリー先生も辞められました。また、「工業デザイン」担当の近藤先生も辞められましたので学生は宿題が減って少し楽をしているのでしようか。

その代り、平成九年度から始めた、棚橋が担当の「卒業実習」が大変好評?なので期待に応えて、今年度は時間を倍にして学生を絞っています。

九月に行なわれました同窓会の懇親会には、平成十年に卒業されたCADの学生が十六人も出席されて大変盛り上がりがありました。来年は、他の年度の卒業生も評議員でなくても、親しい人同士が互いに声を掛け合せて久しぶりに集まりませんか。

ビジネス情報学科

教授 中島 勲

卒業生の皆さん元気ですがんばっていますか。

世の中のビジネスのあり方は毎年変化しております。特にパソコンの進展によって、営業の仕組み、人間同士のコミュニ

ケーション方法が変化して、やれパーレスだとか、電子メールだとかパソコンを知らない仕事が出来ないような世の中になって来ております。

自分の気持を他人に伝える、持っている情報を他人に伝えるには、今まで言葉と文字であったと思います。テレビ時代はこれに映像情報が増えられました。これがマルチメディア時代かと思われま。

インターネットの普及も凄まじいものがあります。入ってくる情報の選択(必要か、必要でないか)も重要です。情報に惑わされるも自分の行動がおかしくなっています。

このインターネット情報を悪用した犯罪も次第に日本でも出てきております。インターネットショップ等は日本にいて海外のものを買うわけですから有効な方法かと思ひます。やはりパソコンや情報に使用されるのではなく、使えるようになることが必要です。

トピックス

ロボット競技会参加

ロボット競技会に使う小型自動走行ロボットは、マイクロ・マウスです。競技は、壁でかこまれた迷路の中で、マイクロ・マウスが道を探しながらゴールまで自動走行するものです。マウスは、走りながら自分で壁の有無を検出し、完全にコンピュータ制御で動かねばならず、競技中は人間の手出し禁止です。

電子制御学科は平成九年度の「卒業製作」の一テーマとし「マイクロマウスの製作」を取り上げました。この年は、マイクロ・



コンピュータやモーターの配線、ねじ止めから始めたので、コンピュータのプログラムは不完全で、試験走行でマウスでよく壁にぶつかって止るという状態でした。

十年度は試験走行を繰り返して、プログラムを改良したところ、競技用のコースでゴールまで行ける見込みができましたので、名古屋科学館で十月十一日に行われた「東海地区マイクロマウス競技会」に出すことになり、二年生の河合君と横田君に競技参加者になってもうまいました。

当日は朝から十五台のマイクロマウスが次々と迷路に挑み、本校のマイクロマウスは午後の一番目の走行でした。競技の迷路コース

は競技会当日まで秘密なので、うまくゴールを見つかるか不安でありましたが、三十一秒で無事ゴールインしました。本タイムは十五台中の六位でした。ちなみに、一位のタイムは十一秒でゴールに着けなかったマイクロマウスが三台ありました。

来年度、さらにスピードアップしたマシンで参加したいと思えます。

なお、これも電子制御学科の「卒業製作」の一環として、競技の様子を、インターネットのページにまとめました。本校のインターネット・ホームページのニュースに入っておりますので、アクセスしてください。

(半村 記)

春の球技大会

恒例の球技大会を豊田市の体育館で実施しました。

今回は残念ながら、前夜の雨でグラウンドコンディションが悪く、ソフトボールを中止し、屋内でのバレーボール、バスケットボールに汗を流しました。



軟式野球部

クラブだより

〇〇Bに感謝

〇Bの皆さん、合同練習、練習試合、本大会応援に多数参加頂きありがとうございました。

合同練習後のミーティングでは次のような意見が聞けた。

〇経験者A君
「久しぶりに野球らしい練習をした」

〇未経験者B君
「急にうまくなった気がする」

〇未経験者C君
「野球が個人スポーツでないことがわかった」

在校生だけの、少人数のレベルの低い練習では経験することができない貴重な体験だったと思う。今後も引き続き実施したいので参加希望の〇Bは連絡ください。

今年度の夏の大会は連盟十周年であり、名古屋ドームで盛大に行われた。

退任者

客員講師 グレン・ケリー
科目 英会話
平成十年三月退職

事務長 吉田 勝
平成十年十一月逝去

トレ中。

尚、来年度から全国大会出場権をかけた夏の大会が、県大会(代表一校)から東海四県大会(代表三校)になり、大会規模が拡大される。

(監督 山田 一敏)

サッカー部

平成十年十一月現在、部員十二名。毎年、「魔部」の危機にさらされながらも、四月に新入部員八名を迎え、新チームを結成した。

新たな気持ちで「悲願の一勝を！」と挑んだ「夏季愛知県専門学校サッカー選手権大会」であったが、残念ながら、一回戦で名古屋電子計算機専門学校と対戦し、八〇と完敗。

同校はあまり強いチームではなかったのですが、万全の体制で臨んでいれば、決して勝てない相手ではなかった。負けた悔しさをバネに、二月の春季大会に向けて頑張るぞ！

(顧問 河合 忍)

卒業生だより募集

皆さんの近況をご紹介下さい。掲載希望の方はお気軽に学校までご連絡下さい。内容は仕事以外のことでも結構です。皆さんの積極的な寄稿をお待ちしております。